

道

2021・2・24

通信 No 1623



節
分
草

《合唱団「道」の皆様》

長い間ごぶさたしていますことをお詫び致します。

淵团长様より道通信を毎号ファックス頂いて嬉しく拝見しています。

思えば昨年3月ごろより皆様にお会いできず、もう1年近くなってしまいました。再会できる日を大変待ち遠しく感じられます。12月9日の演奏会は皆様と共に精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします。

さて私事ですが、昨年夏ころより体調に少し異常を感じ9月中旬内視鏡検査を自ら進んで受けました。結果大腸(S状結腸)に癌が見つかり(ステージ4)いろんな検査と準備を経て、11月4日に摘出手術を受け9日間入院生活をしました。その時点で左右の肺への転移も見つかり、現在は抗がん剤治療を続けています。

担当医師と治療のこと、自分がまだ続けている仕事について相談したところ「仕事はずっとがんばって…そのための治療です」と激励されました。私としても最後の踏ん張りのつもりで思う存分力を出して、皆様のご期待にそむかないようにと考えています。どうかよろしくお願いいたします。

今は大変な時期ですが、コロナ収束まで皆で頑張りましょう。

諸先生方にくれぐれもよろしくお伝えください。

2021年2月10日

中山英雄 拝

もうあと少し我慢すれば歌えますね～。

コロナ陽性者も大分少なくなってきました。このまま自粛生活続けると体力・気力が落ちてしまいそう～。そろそろ皆さん！楽譜広げて、音源CD聴き始めましょう。

52周年定演 1部 曲紹介 リンゴの花咲く頃

イサコフスキイ作詞、ブランテル作曲、1946年。イサコフスキイ(1900～1973)、ブランテル(1920～1990)のコンビによる「カチューシャ」「バルカンの星の下に」も日本で良く知られています。

北国の春は遅く、「カチューシャ」の歌詞にあるように、リンゴや梨の花がいつせいに咲きそろいます。この詞には、花咲く春の喜び、終戦の喜び、若者の恋の喜びが込められています。あふれる喜びを歌いあげましょう。

バインはロシアあるいはウクライナの民族楽器。俗にロシア式クロマティック・アコーディオンと呼ばれています。ボタン式の鍵盤をもち、3台で組になって演奏を行なうのが定石で、音域が広く6声部が自由に演奏できるおかげで大概のクラシック音楽が演奏できるということです。

《寄付》 B永橋さん切手シート5枚寄付頂きました。ありがとうございます。